

## 新しい釧路市長 鶴間秀典（つるま・ひでのり）さん

上田惟嵩 会員限定記事

2024年10月29日 11:23

あとで読む X Facebook 共有



「市長になるのが目的ではない。釧路の立て直しに命をかける」。27日投票の釧路市長選で三つどもえによる接戦を制し、選挙事務所に集まった支援者らに決意を述べた。

釧路市阿寒町生まれ。北大を卒業後、東京の証券会社に勤めた。退職後、世界各国を旅行し、ネパールの6千メートル級の山を登山していたところ、高山病にかかり吐血。通りかかったドイツ人のグループに助けられた経験から、「人のために生きたい」と政治家を志した。

旧阿寒町議、釧路市議を経て初めて挑んだ2020年の市長選で現職に約6300票差に迫った。昨年の道議選釧路市で初当選した直後に市長選に再挑戦する意向を表明。市政のトップにこだわってきた背景には「人口減が進む釧路の衰退を一刻も早く止めたい」との思いがある。

2回目の挑戦となった今回は、人口減対策として理工系のサテライトキャンパスの誘致や、市役所にマーケティング戦略室を設けて企業誘致に取り組むと訴えた。

当選が決まった後のあいさつで「亡くなった父母に見せてあげたかった」と涙を浮かべた。親の年代ほどの支持者からは「息子のよう」とかわいがられ、草の根の活動を展開してきた。

北海道マラソンを完走し、釧路湿原マラソン（30キロ）には毎年参加している。「体力には自信があり、普段から行っているごみ拾いなどの活動に役立っている」と話す。50歳。